

PICK UP NEWS LETTER

2025.9

西尾レントオール株式会社の最新情報や注力している取り組み、各種メディアにお取り扱いいただいた内容などをまとめてお知らせ！



各種メディアにお取り扱いいただきました！

建設通信新聞、北海道新聞
BUILT

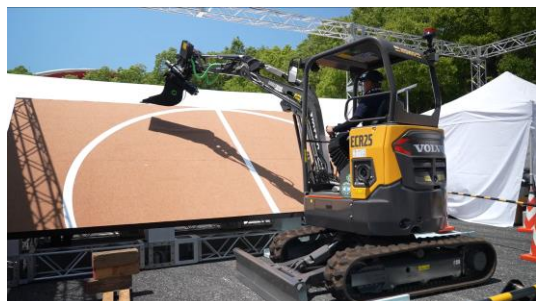
DX

作業効率化

チルトローテータ

2025年9月2日～9月4日掲載

日本企業初！建設機械アタッチメントのオープン規格「Open-S Alliance」に加盟しました



西尾レントオールは、バックホウ（油圧ショベル）用自動カブラーのオープンな業界標準を策定する「Open-S Alliance」に日本の企業として初めて加盟したとして、建設通信新聞はじめ各種メディアにお取り扱いいただきました。Open-S規格により、異なるメーカーのクイックカブラー、チルトローテータ、各種アタッチメントのグローバルな互換性が確保され、ユーザーがメーカーを問わず自由に製品を組み合わせることが可能になります。当社は、就労人口の減少や熟練技術者不足が深刻化する建設業界において、政府が推進するi-Construction2.0や建設DXの一環として注目されるチルトローテータの能力を最大限に引き出すため、アタッチメントの標準化が重要と考え加盟を決定いたしました。今後もレンタル企業として、この規格の普及促進により、お客様の利便性向上と建設業界全体の効率化に積極的に貢献してまいります。

<https://www.nishio-rent.co.jp/news/?m=Detail&id=536>

※分析活用のため「クルクルManager」を経由してリンク先情報が表示されます



中建日報

電動建機

GX

脱炭素化

カーボンニュートラル

2025年8月1日掲載

中国地方初導入となるGX認定機をレンタル提供！脱炭素化社会の促進と騒音対策に貢献



▲VOLVO製電動ミニバックホウECR25

西尾レントオールは、中国地方整備局発注の国道2号三原維持工事において、GX認定機「電動ミニバックホウ（VOLVO製ECR25）」をレンタル提供しました。GX認定機が中国地方に導入されるのは初めてのことで、施工を請け負う山陽建設が創意工夫の一環として実施し、中建日報にもお取り扱いいただきました。現場の実証では、排ガスゼロで騒音が飛躍的に少なく、作業員からも操作性に問題がないことが確認されました。視察した関係者からは「夜間・住宅近接工事などに有用」との評価を得ており、施工業者も騒音対策として今後も導入したいと前向きに捉えていただける結果となりました。豊富な電動建機ラインナップを保有する当社として、今後も様々な現場に柔軟に対応し、建設業界のGX化を後押ししてまいります。

<https://youtu.be/uYN0bMAvtz0>



日刊建設工業新聞

大阪・関西万博

建設業界

トップインタビュー

2025年8月28日掲載

大阪・関西万博の経験を活かした事業展開と社会課題解決への取り組み

日刊建設工業新聞「先を読む」にて、ニシオホールディングス代表取締役社長 西尾のインタビュー記事を掲載いただきました。大阪・関西万博を通じて培った木造建築技術や仮設施設の転用技術を将来に活かす想いを語り、アジアやヨーロッパの国々との連携も視野に入れた事業拡大への考えについてもお取り扱いいただきました。また、建設業界の人手不足という課題に対し、若者に業界の魅力を伝える体験型イベントの企画や、自治体との防災協定を「量から質」へ転換し実効性を高める建設取り組みなど、社会課題の解決に向けた取り組みについても触れています。海外展開においても価格競争ではなく信頼性やサービス面での差別化を重視する姿勢を示しています。当社は今後も業界の発展と社会課題の解決に積極的に貢献してまいります。



日刊建設工業新聞

建設DX展にGX建機出展 西尾レントオール 2025年8月26日

※「JAPAN BUILD OSAKA」内の「建設DX展 GX建機パビリオン」への出展企業として記載

※ご取材に関するご相談は下記までご連絡ください。

西尾レントオール株式会社

広報宣伝室

TEL：06-6253-0824（携帯電話：070-2321-6144）

MAIL：kosen@nishio-rent.co.jp

GX

脱炭素

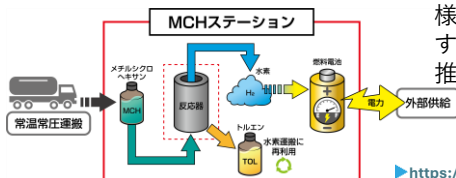
カーボンニュートラル



※架装には当社オリジナルデザインのJR貨物コンテナを採用。
20ftコンテナサイズのため、小型で10tトラックでの輸送が可能であることが特徴。

MCH技術を活用した可搬型水素発電ステーションを開発 実用に向け実証実験を開始

西尾レントオールは、株式会社フレイン・エナジーと共同し、建設業界の課題解決へ向けた**新たなエネルギーソリューション**となる**可搬型水素発電設備「MCHステーション」**を開発いたしました。本ステーションは、輸送・貯蔵時には水素を取り扱いやすい液体であるMCH（メチルシクロヘキサン）に転換、使用時に水素を気体に戻し電力化するまでのフローを一貫して完結させるものです。**電源設備が整っていない工事現場や災害時の非常用電源、イベントなどでの活用**を目指し、2025年以内でのフィールド実証を計画中。西尾レントオールは、現場を取り巻く



様々な要素からレンタルで脱炭素を可能にする手段を模索・実現することで、GXの推進に貢献してまいります。

<https://www.nishio-rent.co.jp/news/?m=Detail&id=539>



イベント

乗車体験

地域貢献

**きみもオペレーター！
～町のはたらく車ひろば～**

2025 10.25(土) 10.26(日) 10:00～17:00

入場無料 申込不要

場所：西尾レントオール株式会社 視察用リーナ

10月25日～26日「きみもオペレーター！～町のはたらく車ひろば～」 R&D国際交流センターで開催

西尾レントオールは、昨年もご好評いただいた「きみもオペレーター！町のはたらく車ひろば」を今年も開催いたします。本イベントは「**咲洲こどもEXPO**」のコンテンツの一つであり、大阪の未来を担うこどもたちの想像力を育み、こどものチャレンジを応援する地域活性化プロジェクトです。**高所作業車やタイヤショベルなどの建設機械を展示**し、こどもたちが間近で見て・触れて・学べる**体験型イベント**を実施いたします。また、本年は昨年よりパワーアップし、**高所作業車への乗車体験やアート作成など工夫を凝らした展示や体験**を準備中です。こどもから大人までどなたでも楽しめるイベントになっていますので、ぜひお越しくださいませ。

<https://www.nishio-rent.co.jp/sakishima/5363/>



NISHIO グループ企業のお知らせ・最新情報

電動建機

GX

NETIS登録



リチウムイオンバッテリー化タイヤローラ「TZ701(改)」がNETISに新規登録

西尾レントオールグループ会社である新トモエ電機工業と共同開発した**リチウムイオンバッテリー化タイヤローラ「TZ701(改)」**がこの度**NETISに新規登録**されました。本製品は、酒井重工業社製タイヤローラ「TZ701」をベースに、既存のディーゼルエンジンをリチウムイオンバッテリーに改造した当社の開発商品です。当社は今後もこのような革新的な電動建機の開発を通じて、建設現場の脱炭素化とDX推進に積極的に貢献してまいります。

<https://www.nishio-rent.co.jp/news/?m=Detail&id=540>



NISHIOが運営する媒体やアカウントをご紹介！最新情報は、下記からもぜひチェックを！



YouTube



<https://www.youtube.com/@nishio-rentall>

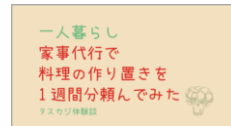


商品紹介動画やCMメイキング
配信アーカイブなど
コンテンツが盛りだくさん！

Nol-ノル
シェアリングで新しい生活を共有するメディア



<https://nol-share.com/>



シェアリングサービスの紹介や
サービスの体験記事など
生活を豊かにする記事を随時掲載！

中期経営計画 “Next Stage 2026”

NISHIOグループは、レンタルを中心としたトータルサービスを展開し、地域や幅広い産業で皆様のお役に立てるようにしたいと考えています。

“必要なモノを、必要な時に、必要なお客様へ”
NISHIOグループ全体のシナジーでレンタルビジネスの更なる進化を図り、企業の発展とともに社会課題解決やSDGs達成、そして豊かな社会の実現を目指します。

① レンタル事業を新たな成長産業に進化させる

- 国内建機レンタル事業と周辺事業の融合
「建設ロジスティクス」… 建機レンタル事業+運送物流事業
「仮設のチカラ」… 建機レンタル事業+イベント事業
- 国内建機レンタル事業の競争力強化 DXを活用して建設産業の生産性向上に貢献
- 成長性の高い海外でのM&A推進

② サステナビリティ経営の推進

- 木造モジュール事業の確立や建設現場のカーボンニュートラルをサポートする

中期経営計画の詳細については、ニシオホールディングスサイトまたは下記資料をご覧ください。
https://nishio-grp.co.jp/nishio-group/management_plan/

